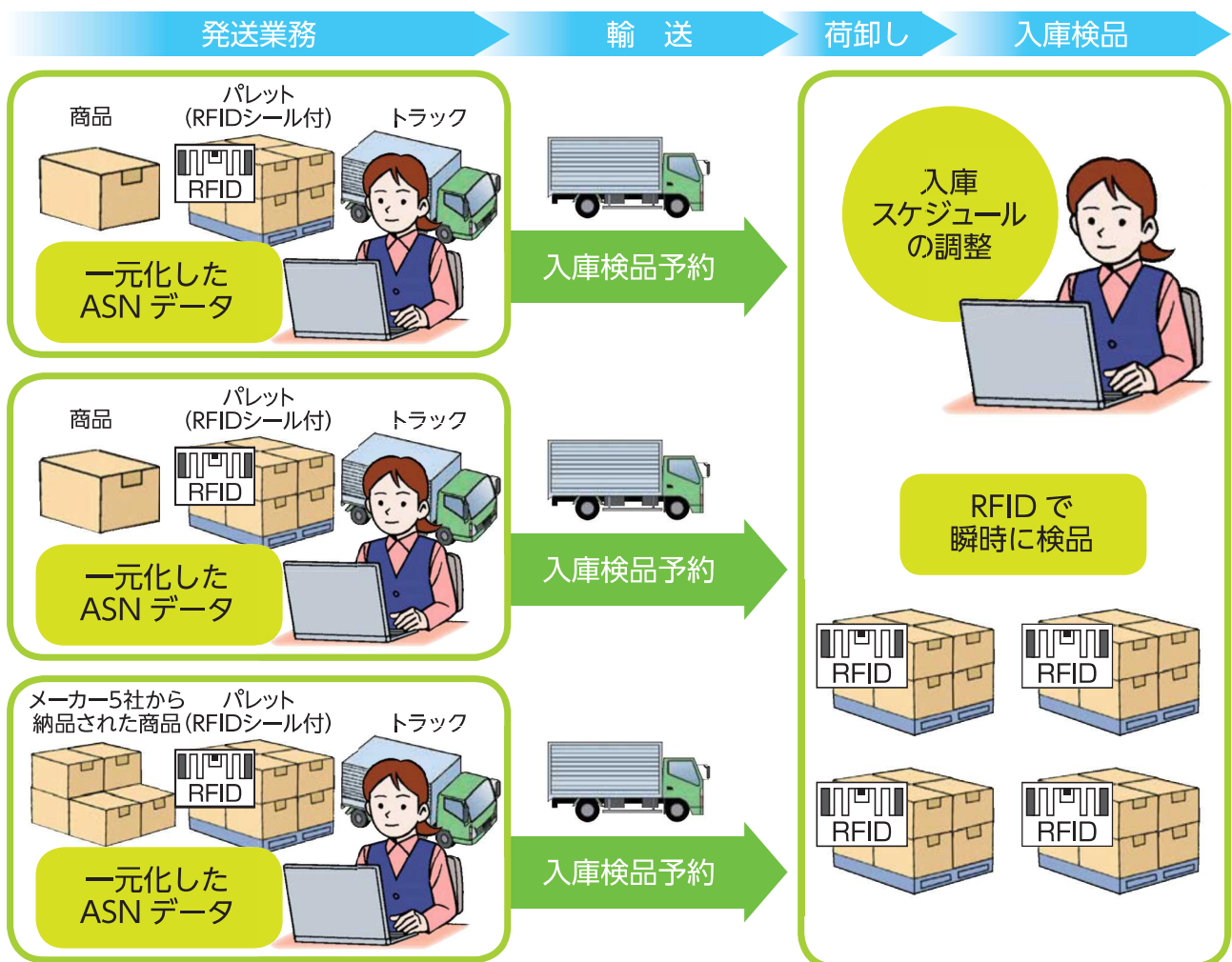


対応例 3

荷主からの 入出荷情報等の 事前提供

- 発荷主の協力により、早めに入出荷情報等をトラック運送事業者、着荷主等の関係者が共有することによって、
 - ①トラック運送事業者については、事前に発側で荷造り等の準備ができること
 - ②着荷主については、事前に仕分けラベル等の準備ができることにより、荷役時間や待機時間の発生しない、最適な運行を行うことが可能となります。
- 荷主にとっては、作業員や構内スペースを有効に活用できる、トラックの確保が容易になるなどの効果につながります。



※ RFID … Radio Frequency Identification の略で、電波・電磁波を用いた無線通信で ID 情報を埋め込んだ IC チップ (RF タグ) から情報をやりとりする技術。物流の世界では在庫管理や検品作業、貨物の追跡などに利用される。

※ ASN … Advanced Shipping Notice の略で、事前出荷情報のこと。

参考事例① 受注締切時間前に受注状況を共有化し待機時間を削減

滋賀県

事例集 182p

成功のポイント

- 受注情報をデータ通信を通じて共有化することができた
- 受注情報の事前連絡によって必要に応じ備車先を探すことが可能になった

改善前

受注締切時間の後に、受注情報を元に配車するため、大急ぎで積込みと配車調整を行う必要があり、効率的な積込や配車ができない



改善後

締切 13 時前に、9：45、11：05 に受注データを確認し、配車を指示することで、実トラック運送事業者に配車準備を実施する時間を提供でき、待機時間を削減することが可能となった



- 事前の受注情報を踏まえ、実運送事業者は配車調整を実施でき、待機のない最適な入門時間に入るため、待機時間が削減された。
- 車両の繰り、他の貨物との積合せ計画も立案できた。

参考事例② 倉庫間の情報連携強化による出荷作業待ち時間削減

三重県

事例集 198p

成功のポイント

- 発荷主の物流効率化に対する意識は以前より高く、「荷姿パターン化による配車割付の簡素化」についてはこれまでも構想したことがあった
- 発荷主と運送事業者が一堂に会する場をつくったことがきっかけとなった

出荷情報確定から出荷作業開始までの流れ

出荷情報の連絡

出荷情報を基に配車割付

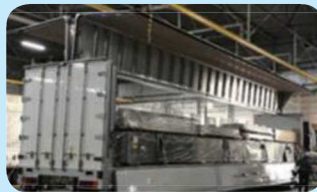
出荷作業

Before

手書きの「出荷連絡票」をFAXで送信していたためタイムラグが発生



商品情報だけでは、パレット数、高さなどが分からず割付け時間がかかる



2箇所積み車両の積込ルールが不明確



After

システム上にある出荷情報データの活用によりリアルタイムに情報共有

重量・才数の標準荷姿から1パレット重量換算し、割付を簡素化

同積み込みパレット数算定シート

品名	品名増強	標準寸法 (mm)	重量 (kg)	才数	パレット数
品名1	品名1	450	546	60	1.2
品名2	品名2	450	3,920	233	4.7
品名3	品名3	1,500	0	0	0.0
品名4	品名4	450	0	0	0.0
品名5	品名5	500	0	0	0.0
品名6	品名6	450	0	0	0.0
品名7	品名7	300	0	0	0.0
品名8	品名8	1,500	14,520	611	0.0
品名9	品名9	0	0	0	0.0
品名10	品名10	0	0	0	0.0
品名11	品名11	0	0	0	0.0
合計			19,444	13,7	19,444

積込ルールを明確にすることで事前の準備ができるように

